

みやぎのボランティア 市民活動情報誌

2016
vol.224

毎月1日発行

1月号

杜の伝言板 ゆるる 月刊



高齢者の 居場所 づくり

- シニアが輝くシニアの居場所
- 都市の中の新しい認可保育園、その産声は聞かれるか？ NPO法人朝市センター保育園
- おめでとう みやぎ社会貢献大賞はNPO法人ほっぷの森
みやぎ小さな活動大賞はみやぎ民話の会に決定！

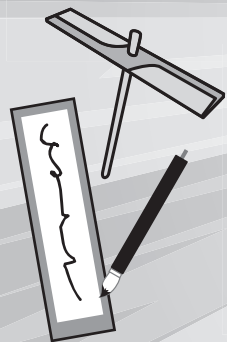
みやぎNPOプラザからのお知らせ

仲間探しやボランティアを始めるきっかけに！

杜の伝言板ゆるる
ホームページ



シニアが輝く



シニアの居場所

今年度四月から介護保険制度が改正され、軽度者である要支援一、二の高齢者が受けられる給付サービスの一部が、市町村の手がける事業へと移行することになりました。すでに、施行が始まっている市町村もありますが、多くの市町村がどのように、地域で高齢者を支えるか、仕組み作りの方法や担い手の育成を模索しています。

去る十二月十二日、NPO法人とめ市民活動フォーラム主催、登米市と認定NPO法人杜の伝言板ゆるるが共催し、とめ市民活動大交流会が開催されました。午後に行われたパネルトーク『地域の居場所であらう！』では、仙台市内で、シニアの居場所づくりに取り組んでいる三団体が、それぞれの事例を語り、地域の居場所の必要性について、参加者とともに考えました。

●●●多様な世代や地域をつなぎながら●●●

仙台市太白区四郎丸という名取市に近い地域で、二十年前から地域に根づいた活動をしているNPO法人FOR YOUにこの家(以下、にこにこの家)は、介護ボランティア入門講座を受講した

仲間たちが集まって、活動を始めました。二〇〇三年からは、介護予防事業として、ミニデイサービスをオープンしました。理事長の小岩孝子さんは、「にこにこの家でミニデイサービスを始めたころは、デイサービスがなく、高齢者を抱える家族が銀行にいく三十分でいいから、自由な時間がほしいという声を聞いて、介護保険制度外のサービスを、地域の女性たちが中心となり、有償ボランティアの形で始めました」と当時を振り返ります。

にこにこの家では、東中田地域の二十の団体と「ほっとネットワーク東中田」という地域福祉ネットワークを組んで、地域と連携をはかり、また、仙台市東四郎丸児童館の指定管理者として、運営を担っていることもあり、地元の小学生・中学生のボランティア体験も積極的に受け入れています。

「子どもたちが、言うんです。お年寄りって、元気なイメージだったけれど



▶ランチで世代間交流

ど、こんなに元気で明るく、いろんなことを知っていて、親切に教えてくれるとは思っていなかった。年を取るのも悪くないって。にこにこの家に通ってきているおじいちゃんおばあちゃんからは、子どもたちに会えることで、十年若返ると喜ばれています」と小岩さんは、多様な世代がつながることの相乗効果について語ります。

「また、今後ますます、地域で高齢者を支えるシニアによるシニアのための有償ボランティアが求められていきます。その仕組み作りを現在、検討中です」と次の展望を語りました。

●●●シニアが支えるシニアの居場所●●●

一九九五年からシニアのサークル活動を支援しているNPO法人シニアのための市民ネットワーク仙台(以下、シニアネット)は、「いくところがある、会う人がいる、することがある」を合い言葉に、共に助け合いながら「豊かな高齢化社会の実現を目指そう」と作られた団体です。きっかけは河北新報夕刊に連載された「夕陽は沈まない」というキャンペーン記事でした。

一九九八年にNPO法人化し、

サンモール一番町アーケード内のビルへ移転し、会員が自ら活動したいテーマや仲間を見つけ、サークルを運営するスタイルなので、史跡ガイドや短歌、朗読、麻雀など、月曜日から土曜日まで多様な活動が目白押しです。

「ひとりの会員が、複数のサークルに参加しているので、週に数回サロンに足を運んできています」と事務局長の伊豆田勝一さんは、サロンの魅力を語ります。二〇一五年十一月の時点で、シニアネット仙台直営の講座・教室は九つ。会員が自主的に運営しているサークル・活動グループは二十八あるとのこと。サークルなどの多くは、参加者から一回五百円程度の会費を集め、そのうち一人あたり二百五十円を団体に支払い、残額でコピー代や資料代などを賄うシステムになっています。事務局は事務局長の伊豆田さんを含め、八名。有償ボランティアで、会員へサークル運営のアドバイスなどを行い、団



麻雀会議の様子

体を支えています。

また、仙台市から敬老乗車証の補助があることも、会員が安心して活動に参加し続けられる要因であると伊豆田さんは指摘します。「七十歳以上のシニアを集めるには、運転ができなくなる可能性もあるので、交通手段の確保も大きな要素です」

●●●●● 全国初！ NPOが居酒屋を運営

仙台法務局の裏手にあるビルの一階を会員制のシニアのための居酒屋として、三階をイベントルームとして、シニア世代が人生を楽しむ、新たな人とのつながりを構築する場を提供しているNPO法人シニアサロン井戸端会議（以下、井戸端会議）。

会員が自ら講師になり、歴史を学ぶ会やパソコン教室などを開催し、終了後は、団体が運営する居酒屋で、語り合う時間を作っています。設立当初は、男性の参加者が多かった活動が、最近では、女性の参加者が増えてきているとのこと。その他、介護保険サービスでは対応できない身体・生活の援助、通勤・外出介助などを会員が有償ボランティア「井戸端お助け隊」と

して行っています。この事業への要望が増えています。実働できる会員がなかなかいないのが、組織の悩みと副



居酒屋「井戸端会議」

理事長の羽田正行さんは話します。井戸端会議では、その他にも、地元の大学生を呼んで、異世代交流「若者VSシニアの激論」というイベントも毎月開催しています。そこに参加している学生協賛会員からの要望で「ほっとスペース」と息「in井戸端」という中高生の居場所の無い生徒の癒やしの場を立ちあげ少しでも「イジメ」問題などの解決に成ればと考えています。組織運営の事務局は、常務会メンバーの六名が担っています。「NPOで活動していく上で、運営資金の確保と、どうやって活動に参加してもらうかという問題に必ずぶつかる」と羽田さんは、NPO運営の難しさを率直に語ります。

どの団体も、多様なメニュー・カリキュラムを持ち、市民の参加

意力を高めるための工夫に力を注いでいます。またそれをうまく運営していくための仕組み作りをしつかり行っていることが、組織を継続させている大切な要因です。

今後、仙台市内に限らず、地域の高齢者の受け皿としての居場所は、地域のシニア自らの発案と実行によって運営されていくことが期待されています。今回紹介した活動が各地で展開されていくためには、自治体の補助制度や事業の在り方が課題となります。持続可能な地域福祉につながるように、NPOと自治体、双方が尊重される協働のもとに進められることが力ギとなります。

NPO法人FOR YOUにここにこの家

〒981-1101 仙台市太白区四郎丸字神明16-2
●TEL：022-241-0858

NPO法人シニアのための市民ネットワーク仙台

〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-5-12
東一番町中央ビル8階
●TEL：022-266-5650

NPO法人シニアサロン井戸端会議

〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-2-40
Mビル 3階
●TEL：022-263-7079



都市の中の新しい認可保育園、 その産声は聞かれるか？



NPO法人朝市センター保育園 理事・園長 安達喜美子

●●● 行政が動いた！ ●●●

「保育園認可にあたり、保育環境は個別事例ごとに検討することとし、一律な立地規制はしない。仙台市の認可要綱を改訂する。」二〇一四年十一月十日、社会福祉審議会において、仙台市が正式に見解を発表しました。一年余り及び朝市センター保育園存続運動が行政を動かした瞬間でした。

国の「子ども子育て支援新制度」実施に伴い、仙台市独自の助成制度「せんだい保育室制度」を廃止すると仙台市が発表したのは二〇一三年十一月。その時、認可保育園への移行を表明した朝市センター保育園は、存続の危機に直面することになりました。パチンコ店が七十m圏内にあることで「認可園としては認められない」と言い渡されたのです。しかし、またたく間に二万三千の署名が集まり、市長との直接の話し合いが



▶朝市の中にある保育園

行われ、存続運動が実を結ぶこととなったのです。

●●● 一難去ってまた一難 ●●●

門前払いだった認可保育園への道は確かに開かれました。しかし、ここはまだスタート地点にすぎません。認可保育園を誕生させるまでには、越えなければならぬ大きなハードルが待ち構えていました。一つは認可保育園の建物基準を満たすための改修工事です。そして、もう一つは、保有金確保の問題です。民間の認可保育園を運営するためには、安定した運営を保障する保有金を持つことが必須の条件となっており、建物が賃貸の場合は家賃の十二か月分、及び、年間運営費の十二分の一、さらに一千万円、総額で二千万円を超える額となります。改修工事費用は借り入れることも可能ですが、保有金については借り入れることはできません。二〇一七年四月の認可保育園開園を目指す朝市センター保育園は、新たに一千万を超える資金確保が必要となったのです。NPO法人運営の保育園にとっては、大きすぎる金額です。一難去ってまた一難。しかし、立ち止まっていることはできません。

●●● 一千万募金に取り組む ●●●

二〇一五年四月には、「認可開設を目指す一千万募金」をスタートさせました。在園児保護者、卒園児保護者、職員総がかりで、保育園のあらゆる関係者に振込用紙付きのチラシ二千枚を配って歩きました。半年が経過した九月、目標の半分までこぎつけましたが、さらなる広がりが必要でしたが、だとの議論が出てきていました。そうした中、保護者の一人が「ネット上で不特定多数の方々に支援をお願いするクラウドファンディングに挑戦してみませんか？」と声を上げました。ネット関係は不得意で敬遠していた職員たちの尻をたたきながら、保護者達は煩雑な手続きをぐんぐん進めていきました。保育内容や関係者の思いをサイト上で発信することを宣言すると、保育園内外から原稿が次々と寄せられ、プロジェクトを成功させようという機運が高まってきました。十一月十四日には、雨の中、「守りたい、笑顔育む保育の場」と書かれた横断幕を掲げ、保護者と職員総勢二十人が街頭宣伝に繰り出しましたが、この時の様子は新聞やテレビでも報道されました。ネットは使えないけれど応援した

いと、募金を持参してくださる方も出てきました。

●●●●● 保育園の誕生と、 街なかの保育

●●●●●

朝市センター保育園は、宮城県仙台市の中心部、JR仙台駅から徒歩四分の市場通りにあります。交通の要衝、都心で働く人々の職場の近くの保育園という性格を持って一九八七年、朝市ビルの五階に誕生しました。当時、産休明けから預けられる保育園、勤務時間と通勤時間に見合う長時間保育を行っている保育園が、仙台市内にはほとんどありませんでした。働く若い子育て世代の力になりたいと保育園は産声を上げたのです。

しかし、保育の環境としては苦

勞の多い場所でした。五階建てビルの五階部分百坪ほどが全て保育園のスペースで、年齢別の保育室に仕切



▶街の中でおもいっきり遊ぼう

られてはいましたが、自然からは最も遠い場所にありました。それでも、幸いなことに保育園が立地する市場通りは、生きのいい農産物や海産物はもちろん、朝から晩まで懸命に働く大人たちの汗や呼び声に溢れていました。バーチャルなんかじゃないリアルな人間の労働が目の前に広がっていました。子どもたちは、それを五感で感じ取ることができた環境にあったのです。

また、不思議なことに、制約があればあるほど選択肢は多様になっただけでした。土や水や草木を求めて毎日毎日散歩に繰り出すからです。街中が園庭です。「どんぐり公園」「こんこんさん」「メルヘンの里」「やまなびビル」などなどユニークな名前がついた散歩先。人工物だらけの街の中にも、愛おしい小さな自然がいくつも見いだされていきました。

四、五歳児は夏に蔵王の山麓で一泊二日の合宿を行います。毎年欠かさず取り組むのは、ニジマスの掴み取りとそれを捌いて食べる活動です。生き物の命を自分の手の中に感じ、そして、よく手入れされた道具を操り自分で捌き、その場で焼いて食べます。「生き物の命をいただく」体験をした子ども

もたち

は、市

場に並ぶまで



◀魚をさばき、命について考える

肉や野菜の生涯に思いをはせ、食事の時の「いただきます」を深くかみしめるようになります。市場の魚屋さんに保育園に来てもらい、鮭や鰹などの大きな魚を捌く場面をみんなで体験する日もありますが、生き物と食べ物とそして、人間の労働がつながりを持つて存在していることを知る機会となっています。

●●●●● 挑戦は続く

●●●●●

「待機児童が増え続ける仙台市で、良質な保育資源を一つでもなくしてはならない」「交通の要衝に保育所はもつと必要」そして「二十八年間、仙台朝市の中で育まれた特色ある保育を絶やしてはならない」というメッセージが、今、市民の中に共感を持つて広がっていくのを感じます。保有金確保も工事費調達もいずれも小さな保育園にとっては身の丈に余る重量級の課題ですが、目をそむけず向き合っていく道を歩んでいきます。

一方、乳幼児が育ち合う多様な場の存続、新たな創出を行政は本気で支援してほしいと思います。抜本的な財政支出が求められることですが、それは、大人の都合だけではなく、全ての子どもたちの豊かに育つ権利を保障するという視点からも、未来社会への責任であると思うのです。

最初から選ぶことができるものもありますが、否応なく与えられる条件もあります。朝市センター保育園の歴史は「制約ある条件の中で、少しでもよい方へ」と地べたを這うような一歩一歩の歩みであったと思います。その一歩一歩がどこにもない保育内容と歴史を作ってきました。その醸し出す空気を吸って子どもたちと共に大人たちも成長してきました。朝市センター保育園の挑戦は、その延長線上に都市の中の新しい認可保育園、みんなの故郷としての保育園を築いていくことです。

..... NPO法人朝市センター保育園

〒980-0021 仙台市青葉区中央4-3-28
朝市ビル5階

●TEL：022-221-9350

●URL：http://asaichikko.jimdo.com/

おめでとう

みやぎ社会貢献大賞はNPO法人ほっぷの森 みやぎ小さな活動大賞はみやぎ民話の会 に決定!

“社会福祉のため、公共の利益のために、力を惜しまず活動を続けている団体に、これまでのねぎらいとこれからの期待を込め”、その功績をたたえて毎年一団体に贈る「みやぎ社会貢献大賞」。平成二十七年年度の大賞は、仙台で様々な障害のある人が仕事を通じて自立すること、社会に繋がることを目指して活動している『NPO法人ほっぷの森』に決定しました。

また、今年度新たに創設した「みやぎ小さな活動大賞」には、宮城県内を中心に町や村に伝わる民話の語り手を訪ね、その伝承の語りの記録と公開に取り組む「みやぎ民話の会」が第一回の大賞になりました。

●●● 一〇〇万円の賞金 ●●●

主催する一般財団法人愛知揆一福祉振興会は、昭和五十六年の創立から、県内二十三町村の小中学校や福祉施設などに、図書や書庫を寄贈するボランティア文庫事業を行い、平成十年からは宮城県社会福祉協議会とタイアップして、県内の様々なNPOに研修コンペを実施し、一団体あたり最大二十万円の助成金を贈る事業を行ってきました。平成十八年度ま

でに五十七団体に助成しています。その後、平成十九年には、ますます多様化する現代において市民活動の重要な意義を考え、現在の活動がさらに一歩進み、もっと成熟して社会全体に視野を拡げた活動となることを期待して「みやぎ社会貢献大賞」を設立しました。これまで八団体にみやぎ社会貢献大賞が送られています。驚くのは、毎回団体を訪問して行われる大賞贈呈式で、賞金である一〇〇万円を現金で直接贈呈することです。受け取った団体の代表者は、口をそろえて「一〇〇万円の重みを実感できました」と感想をのべています。

●●● ほっぷの森の活動 ●●●

ほっぷの森は、障害のある人が一般就労(就職)する機会(チャンス)があまりにも少ないことを痛感し、企業経営者、大学名誉教授、臨床心理士、フリーのアナウンサーなど同じ志を持つ人々が集まり、平成十九年二月に有限責任事業組合(LRP)就労支援センターほっぷを立ち上げ



▶ほっぷの森副理事長
深野せつ子さん

ました。その後、平成二十年一月には特定非営利活動法人ほっぷと改称し、現在は、就労移行支援事業所「就労支援センターほっぷ」、就労継続支援A型(雇用型)事業所「レストラン長町遊楽庵びすたり」、就労継続支援B型事業所「びすたりフードマーケット」、「カフェ じょじょ」相談支援事業所「ほっぷの木」などの事業所を運営しています。

太白区長町にある「レストラン長町遊楽庵びすたり」は、約百三十年前の古民家を改修して作った、コンサートや展示会もできるレストランで、雇用契約を結んだ障害を持った方が、接客のサービスや厨房での作業、事務の仕事を行っています。



▲長町遊楽庵びすたり

●●● どんまいネットみやぎ ●●●

今回の審査会でほっぷの森がアピールしたのは、福祉と医療のはざまで行き場のない高次脳機能障害者の問題です。高次脳機能障害とは、「脳梗塞やくも膜下出血等

の病気や交通事故、転倒事故等の怪我によって起こる後遺症で、身体的なりハビリが終わって一見健康者のように見えながら、その一人一人の症状が違って、記憶を失ったり、場所が分からない、文字が書けない、読めない、異常に疲れるなど、日常生活に生きづらさが起きます。しかも本人がその自分の変化を認識できないなど、家族も大変困難な状態に追い込まれてしまいます。」(ほっぷの森)問題は、世間からの偏見により、本人も家族も外に出ずらくなつて、福祉の支援を受けられないままにいる方々がいることです。そこで宮城県内の高次脳機能障害者と家族を支援するゆるやかなネットワークの構築を目的に平成二十四年六月に宮城高次脳機能障害連絡協議会(どんまいネットみやぎ)を設立しました。リハビリ講習会や理解を促進するための冊子を作成するなどの活動に発展しています。

今回の受賞で、理事長の白木福次郎さんは、「どんまいネット」の活動が認められて本当にうれしい！高次脳機能障害のある当事者と家族を支援するために政、医療、福祉などの社会的資源を県内全域にわたってつなぐ民間の活動

は全国的にみても少ない、この活動をより一層地域に密着した形で展開できるよう力を尽くして行きたい」と今後を見据え、喜びを語っています。

●●●●● 四十年を超える歴史 —みやぎ民話の会

今年度新設した「みやぎ小さな活動大賞」の受賞に輝いたのは、みやぎ民話の会(代表…山田裕子さん)です。

民話の会は、四十年近く宮城県内を中心に町や村を歩き、民話の語り手を訪問し、暮らしの話や言い伝え、昔話などを聞いて、記録する活動を続けてきました。伝承の語り手の語りを採録文字化した民話集「みやぎ民話の会叢書」を編集し、第十四集まで発行。平成二十四年度より、せんだいメディアアテークと協働で民話語りの映像・音声デジタル化し、「民話声の図書室」として公開し



▶「第二回民話ゆうわ座」
画像提供…せんだいメディアアテーク

ているほか、翌年から「民話ゆうわ座」話に遊び、輪を結び座に集う」を毎年開催しています。審査会で活動を発表した民話の会顧問の小野和子さんは、「福島県双葉町から原発事故で宮城県に避難してきた方が会員となり、今、同郷の避難者の方たちの被災体験を聞き書きし、会員の協力を得ながら記録集としてまとめています。これからは同時代の歴史の体験の聞き書き活動にも力を注いでいきたい」と語りました。

語り手とともに消えゆく民話をいかに伝承していくか、語り手が高齢化していく中で、時間と闘いながら地道に活動をしてきた歴史が本となり、DVDとなり、そして小野和子さんを聞き手として県内三人の語り手を相手に伝承の民話語りが記録された映画「うたうひと」が完成しました。小さな団体



▶「民話声の図書室」DVD
画像提供…せんだいメディアアテーク

▲民話の会小野和子さん

ながら着実に活動の域を広げています。

二団体共に実績のある団体ですが、二次審査会でプレゼンした団体も実績のある団体ばかりでした。助成金とは違い、これまでの活動に対して贈られるみやぎ社会貢献大賞とみやぎ小さな活動大賞。今回大賞を逃した団体も含め、さらに実績を積みあげ、挑戦してみよう。



▲2次審査会参加プレゼン団体

NPO法人ほっぷの森

〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-5
第三志ら梅ビル4階

●TEL: 022-797-8801
●FAX: 022-797-8802
●URL: <http://www.hop-miyagi.org/>

みやぎ民話の会

●TEL/FAX: 022-282-4074
(担当: 小田嶋利江)
●E-mail: saras919@soleil.ocn.ne.jp

仲間探しやボランティアを 始めるきっかけに!

みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPO
プラザからのお知らせです。

NPOや市民活動団体にとって、団体のミッションに賛同し、ボランティアとして活動に参加してくれる市民は、心強い支援者であり、活動の苦勞や喜びを分かち合える大切な仲間です。

みやぎNPOプラザ(以下、プラザ)とみやぎNPO情報ネット(以下、情報ネット)では、県内で活動するNPOや市民活動団体から寄せられたボランティア募集情報を掲載するコーナーをプラザ館内と情報ネット上に設けています。新年の始まりに、プラザや情報ネットを活用し、皆さんも活動に参加してくれる仲間探しやボランティアを始めてみませんか?

今回は、情報ネットにボランティア情報を長年掲載しているNPO法人ミヤギユースセンターの代表・土佐昭一郎さんと、プラザ館内に掲示されているボランティア情報を見たことがきっかけとなって市民活動に参加するようになった三上礼子さんに、NPOでボランティアをすることの意義や楽しさについてお話を伺いました。

自分自身が成長できる場所

ミヤギユースセンターは、不登校や引きこもりの中高生などを

対象に居場所づくりや学習・就職支援をしている団体で、多くの大学生・大学院生がボランティアとして携わっています。

土佐さんは、「NPOで活動することで、メディアを介さずに社会問題を体験できる。NPOの現場は本当のことを知れる場所。生き方や物の見方が広がると思います」と、ボランティアの学生にとって団体での活動は、大学では経験できない更なる学びや将来のキャリアについて考える場になっていると言います。

一方、三上さんは、現在、プラザに拠点があるNPO法人アートワークショップすんぷちよと、NPO法人イー・エルダー東北支部で、ITのスキルを活かしてボランティアをしています。「どの団体の皆



イー・エルダー東北支部「Paso Cafe」で活動する三上さん



学習指導中のミヤギユースセンター土佐さん

さんも自分たちの自由な意思で集まった人たちが自分の得意なことを活かし、無理のない範囲で活動しています。ボランティア活動を通じて、団体に関わる人の輪の中でお互いが良い刺激を受け、自分自身が成長できると思います」と笑顔で語ってくれました。

プラザと情報ネットを活用!

土佐さんは、「ボランティアの学生のほとんどが情報ネットを見て活動に参加しています。自団体のホームページ以外に宮城県が設置しているサイトに情報を掲載することで、情報発信の窓口も広がり、団体活動の信頼性も増しました」とボランティア募集を情報ネットに掲載することのメリットについて話します。

プラザや情報ネットに団体の募集情報を掲載する方法は簡単です。下記の情報ネットの連絡先にFAXやメールで募集したいボランティアの活動内容についてお知らせください。プラザの窓口で直接お申込みもできます。ボランティアをしてみたい、自分でも参加できるボランティアを探しているという方も、プラザや情報ネットにお気軽にご相談ください。

プラザのNPO向け相談・講座

お申込みはコチラから

法人設立・運営相談

毎週水曜日

13:00~17:00

会計・税務相談

1/15(金)

13:00~17:00

メディアを活用!プレスリリース講座

1/22(金)

13:30~15:30

NPO夜学~世のため人のため、考動する人の道しるべ~
第4回「体験から見つけよう!あなたの市民活動」

1/30(土)

15:00~18:00

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5

(指定管理者:認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎ 022-256-0505 ☎ 022-256-0533

✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

TEL/FAX: 022-256-0511

E-mail: info@miyagi-npo.gr.jp

http://www.miyagi-npo.gr.jp/



『しんきんの絆』復興応援プロジェクト 第2期 第3回助成

- 助成対象：岩手県・宮城県・福島県のいずれかの県において、「地域の絆」を繋ぐ草の根の日常生活の再建と地域コミュニティ・文化の再生活動
- 対象団体：上記3県のいずれかに活動拠点を置き、1年以上の活動実績を有する、民間の非営利組織（法人格の有無、種類不問）
- 助成金額：Aコース100万円以上300万円未満
Bコース300万円以上500万円以内
- 応募締切：1月12日（火）必着
- 連絡先：認定NPO法人日本NPOセンター
『しんきんの絆』復興応援プロジェクト事務局
TEL：03-3510-0855（担当：西口、千代木）
URL：http://www.jnpoc.ne.jp/?p=9297

2015（平成27）年度『連合・愛のキャンパ』助成

- 助成対象：新たに始める、地域における高齢者・子ども・障がい児（者）を含めた地域ぐるみの助け合い・支え合い活動等（既存活動の継続は不可）
- 対象団体：ふれあい・助け合い活動団体・グループ（任意団体、NPO法人、グループ、サークル等）
- 助成金額：1件あたり上限15万円
- 応募締切：1月15日（金）必着
- 連絡先：公益財団法人さわやか福祉財団（立ち上げ支援プロジェクト）
TEL：03-5470-7751
URL：http://www.sawayakazaidan.or.jp/

第24回 住まいとコミュニティづくり活動助成

- 助成対象：社会のニーズに対応した住まいづくり、住環境の保全・向上、地域コミュニティの創造・活性化、安全で安心して暮らせる地域の実現を目指し、住まいとコミュニティづくりに関わる活動
- 対象団体：営利を目的としない民間団体（NPO法人、任意団体等）
- 助成金額：1件あたり上限100万円
※2016年度テーマ助成は1件あたり上限200万円
- 応募締切：1月20日（水）必着
- 連絡先：一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団
TEL：03-6809-1408
URL：http://www.hc-zaidan.or.jp/

2016年度（第11回）アステラス・スター ライトパートナー患者会助成

- 助成対象：会の自立や育成につながる活動、会の役員、リーダー等の人材育成が期待できる活動
- 対象団体：日本国内に活動拠点がある営利を目的としない、患者または患者家族の会・患者会の連合組織等
- 助成金額：1件あたり上限50万円

- 応募締切：1月29日（金）当日消印有効
- 連絡先：スターライトパートナー事務局（アステラス製薬 総務部）
TEL：03-3244-5110
（土日祝日・会社休日を除く）
URL：http://www.astellas.com/jp/csr/social/patient/koubo.html#a-01

西松建設まちづくり基金 まちづくり助成（第2期）

- 助成対象：名取市内で取り組まれる「より良いまちづくりとコミュニティの関係や連携を更に強めていく」非営利の活動
- 対象団体：名取市内で定期的に活動を行おうとする、地元住民5名以上のグループ、団体（任意団体を含む市民活動団体、NPO法人、一般社団法人等）
- 助成金額：Aコース：1団体あたり上限10万円
Bコース：1団体あたり上限50万円
- 応募締切：1月31日（日）当日消印有効
- 連絡先：西松建設まちづくり基金 まちづくり助成事務局
公益財団法人地域創造基金さなぶり
TEL：022-748-7283
（平日 月～金9:30～18:30）
URL：http://www.sanaburifund.org/shiensupport/

平成28年度スポーツ普及奨励助成事業

- 助成対象：不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的に全国・ブロック規模で開催する競技会・交流大会・研修会・セミナー等
- 対象団体：法人格を有するスポーツ・レクリエーション等生涯スポーツ関係団体（営利法人を除く）
- 助成金額：1件あたり 上限100万円
- 応募締切：1月22日（金）必着
- 連絡先：公益財団法人スポーツ安全協会
「スポーツ普及奨励助成事業」係
TEL：03-5510-0022
URL：http://www.sportsanzen.org/

アウトドア環境保護基金

- 助成対象：野生生物の生息地、アウトドア・レクリエーションの活動フィールドとして価値のある、日本国内の自然地域を環境破壊から守る活動
- 対象団体：直接行動する、自然環境保護・フィールドの保護活動を行う団体
- 助成金額：1件あたり上限50万円
- 応募締切：2月15日（月）
- 連絡先：コンサベーション・アライアンス・ジャパン事務局
アウトドア環境保護基金係
URL：http://ca-j.org/grants.html#2
※ホームページお問合せフォームからお問合せください。

- 日 時：2月6日(土) 11:00～16:00
- 場 所：仙台市福祉プラザ プラザホール・ふれあいホール
(仙台市青葉区五橋2-12-2)
- 内 容：人形劇団ブーク「てぶくろを買いに」 11:10～11:50
かえっこバザール 12:30～14:25
オークション 14:25～15:25
人形劇団ブーク「くるみ割り人形」 15:35～16:00
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先までメール、電話、FAX等でお申し込みください
- 主催：NPO法人せんだい杜の子ども劇場
- 連絡先：TEL/FAX：022-375-3548
E-mail：morinokodomo@s8.dion.ne.jp
URL：http://www.ab.auone-net.jp/~senmori8/

2/7 難病患者等ボランティア講座 「ボランティア参加に必要な不可欠なルールやマナー」

ボランティア参加のために必要不可欠なルールやマナーを学びましょう！(一般社会組織でも生かれます)

- 日 時：2月7日(日) 10:00～16:00
- 場 所：仙台市シルバーセンター 第2研修室
(仙台市青葉区花京院1-3-2)
- 内 容：◆講師：藤永 弘子氏(社会保険労務士)
・NPOや組織の運営を円滑かつ効率良くすすめるためには
・なぜ、今、ハラスメントが問題なのか？
・グループマネジメントをすることについて
・活動と人事についての基本方針 他
◆講師：仙台市健康福祉局 障害者支援課
・仙台市における、難病患者に対する支援の実践について
- 対象：どなたでもご参加いただけます
- 定 員：100名(先着順)
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み(要事前申込み)
1月12日(火)より受付開始
- 詳細：当日のプログラムはホームページに掲載します
- 主催：NPO法人宮城県患者・家族団体連絡協議会
- 連絡先：TEL：022-796-9130 FAX：022-211-1781
E-mail：mpc.miyagi@beetle.ocn.ne.jp
URL：http://mpcmiyagi.com

2/13 シニアのための市民活動入門講座in栗原

地域の市民活動には、豊かな人生経験を持つシニアの皆さんの力が必要です!地域のなかで、何か気になっていることはありませんか?その問題と向き合おう!何かしたい!と思ったら、市民活動のはじまり。「市民活動」に踏み出す一歩にしませんか。

- 日 時：2月13日(土) 14:00～16:00

- 場 所：栗原市市民活動支援センター 多目的室
- 講師：大久保 朝江(みやぎNPOプラザ館長、認定NPO法人杜の伝言板ゆるるの代表理事)
- 対象：栗原市・近隣地域等にお住まいの方、市民活動にご興味のある方
- 定 員：20名(申込先着順)
- 参加費：500円(税込)
- 申込方法：申込書に必要事項を記入のうえ、下記連絡先にFAX、E-mailで申込み
申込書は下記URLリンク先からダウンロード可能
URL：http://www.miyagi-npo.gr.jp/plaza/jigyoku/koza_d20160213.html
※TELでの申込みも受け付けます
- 主催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施：認定NPO法人杜の伝言ゆるる
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

2/27 「つながる」を支えたい。 パソコンボランティア養成講座

上肢障がいや視覚障がいがあり書字が困難な方、言葉を話すこと、文字を読むことが困難な方にとって、パソコン等ICT(情報通信機器)関連機器等は、「人と人」、「人と社会」をつなぐ大切なコミュニケーションツールの1つです。障がいがある方々のパソコン機器等の使用に関する支援に必要な技術、知識を学ぶ4日間の講座です。

- 日 時：9:30～17:30 (90分×16講義)
2月27日(土)、2月28日(日)、
3月12日(土)、3月13日(日)
- 場 所：東北福祉大学 国見キャンパス
(仙台市青葉区国見1-8-1)
- 内 容：○社会福祉及び障がい者福祉の基礎知識(大学等で履修済みの方は免除)
○パソコンボランティアの活動の実際
○障がい者の情報入手と活用、コミュニケーション支援について
○障がい者支援ソフト(肢体不自由者用、音声入力ソフト等視覚障がい者用)
○その他、マルチメディアDAISY等パソコンボランティア活動に必要な知識など
- 対象：文章作成、Web検索、メール等日常的にパソコンを利活用するなど情報通信技術に一定の知識・技術を有する方(18歳以上)
- 定 員：10名(先着順) ※1月15日(金)～受付開始
- 参加費：1,000円(テキスト代)
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
- 主催：一般財団法人宮城県肢体不自由児協会
- 連絡先：TEL：022-293-2902 FAX：022-293-2905
E-mail：msk@bc.wakwak.com
URL：http://park10.wakwak.com/~msk/

情報をお待ちしてます

- 申込方法：問合せ先を明記の上、
FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。
- 掲載は無料です!
- 締切：毎月15日(翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 紙面の都合で掲載できない場合があります。 ○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPOネット」にも提供いたします。

認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL：022-791-9323 FAX：022-791-9327
e-mail：npo@yururu.com

寄付のお願い

みやぎのボランティア・市民活動の情報を発信している月刊情報誌「月刊杜の伝言板ゆるる」。1997年の創刊以来、皆様のご寄付と応援に支えられて、毎月欠かさず発行を続けてきました。これからも情報誌を通して、みやぎの市民活動を発信し、ボランティアや市民活動に取り組みやすい環境をつくっていきます。活動へのご支援よろしく願いたします。

「認定NPO法人」である当法人へのご寄付(賛助会員の会費含む)は、税制上の優遇措置(寄付控除)の対象となります
当法人を応援してくださる方のご寄付は、こちらから受け付けております。

【お振込み先】
郵便振込口座 02250-0-43800
加入者名 特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
※会員申込については、P14をご参照ください

1/23 なんとセン市民活動講座 「日々の会計のための初級講座」

団体にとって、正しい会計処理と報告は、信頼と共感を得るために欠かせません。この講座では、活動をするなかで日常的に発生する、帳簿のつけ方、現金や通帳の保管方法など、会計の基本をわかりやすく学びます。

- 日 時：1月23日(土) 13:30～15:00
- 会 場：名取市市民活動支援センター
- 講 師：小野 恵子氏(会計サポーター)
- 対 象：市民活動団体やボランティア団体の会計担当者
- 定 員：20名(先着順/要予約)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
- 主 催：名取市
- 企画・実施：NPO法人パートナーシップなとり
- 連 絡 先：名取市市民活動支援センター(担当：菅原)
〒981-1232 名取市大手町5-6-1
TEL：022-382-0829 FAX：022-382-0841
E-mail：npo@natori-npocenter.or.jp
URL：http://www.natori-npocenter.or.jp

1/24 女性ホームレスにみる「貧困」と「排除」の現実

女性の活躍が言われる一方で、非正規雇用で働く女性たち、シングルマザー、無業の若年女性などの現実から見える貧困問題は深刻です。女性ホームレスに関する調査結果と支援にあたっている団体の活動を通して、その背景に何があるのか、みなさんと一緒に考えます。

- 日 時：1月24日(日) 13:30～16:00
- 場 所：エル・ソーラ仙台大研修室(アエル28階)
- 講 師：丸山 里美氏(立命館大学産業社会学部准教授)
- 対 談：丸山 里美氏、青木 淳子氏(NPO法人仙台夜まわりグループ事務局次長)
- 定 員：70名
- 参 加 費：500円
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
- 申込締切：1月17日(日)
- 主 催：NPO法人イコールネット仙台
- 連 絡 先：TEL：090-1398-5065(佐藤)
FAX：022-271-8226
E-mail：emuna@ve.cat-v.ne.jp

1/28 子育て支援活動を応援する「活動見本市」

仙台市子育てふれあいプラザのびすく泉中央では、子育て支援活動を行う皆さんの活動を広く、多くの方へ広げる機会として「活動見本市」を開催します。

- 開 催 日：1月28日(木) 13:30～16:00
- 場 所：仙台市子育てふれあいプラザ のびすく泉中央4階
- 対 象：仙台市内で子育て支援活動を行っている団体や一般市民
- 内 容：①ステージ発表(13:30～15:00)
②パネル展示・チラシ設置(13:30～16:00)
③交流会(15:00～16:00)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：申込不要、直接会場へお越しください
- 主 催：仙台市子育てふれあいプラザのびすく泉中央
- 連 絡 先：仙台市泉区泉中央1-8-6 仙台市泉図書館3階・4階

TEL：022-772-7340 FAX：022-375-0671
URL：http://www.nobisuku-sendai.jp/n_izumi/

1/28 市民活動～一緒に学びませんか!～ 「学ぶ」時間 NPOいろは塾

NPOってなに?今さら人に聞けない…という方に、おススメのNPOの基礎を学ぶ講座です

- 日 時：1月28日(木) 19:00～20:30
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 研修室5
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 内 容：NPOの基礎を90分で学びます。
1.NPOについての基礎知識
2.NPOはじめの一步
3.サポセンガイドツアー
- 定 員：20名程度
- 参 加 費：無料
- 申込方法：申込書に内容を記入の上、TEL・FAXにてお申込み
くださいサポセン窓口でも受け付けています。E-mail
でのお申込みの場合は、件名「学ぶ時間」、氏名・
年代・住所・TEL・FAXをお知らせください
- 申込締切：1月26日(火)
- 主 催：仙台市市民活動サポートセンター
- 企画実施：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター
- 連 絡 先：仙台市市民活動サポートセンター
〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3
TEL：022-212-3010 FAX：022-268-4042
E-mail：sendai@sapo-sen.jp
URL：http://sapo-sen.jp/

2/6 大人のお魚料理～旬を味わう!海のめぐみ～

「食」の楽しさ、大切さを一緒に体験してみませんか?

- 日 時：2月6日(土) 10:30～14:00
- 場 所：みやぎ生協文化会館ウィズ調理室
- メニュー：マグロのステーキ、イワシのサラダ、ミネストローネ
- 対 象：お魚料理がもっとうまくなりたいお父さんと
若干名お母さん(25名)
- 持 ち 物：エプロン、三角巾、布きん、筆記用具
- 参 加 費：1,500円
- 申込方法：下記申込先にハガキ、FAX、E-mailで申込み
申込み時、①住所、②TEL、③氏名(ふりがな)、
④年齢、⑤参加申込みイベント名を明記
- 申込締切：1月25日(月)
- 主 催：食育NPO「おむすび」
- 連 絡 先：★申込先
〒981-0912 仙台市青葉区堤町2-8-3 三浦勝子
E-mail：tomokoomusubi0222@yahoo.co.jp
FAX：0229-24-3436
★問合せ先
食育NPO「おむすび」代表 清水智子
TEL：090-4312-3025

2/6 杜の子まつり～あそびのひろばin仙台～

親子で楽しむ遊びのブースや、おもちゃをポイントと交換で
きる「かえっこバザール」、人形劇など、今年も楽しみいっぱ
いのイベントです。ぜひ、親子でいらしてください!

- 日 時：全5回 すべて13:30～15:30
①1月18日(月) ②1月20日(水)
③1月25日(月) ④2月1日(月)
⑤2月8日(月)
- 場 所：名取市市民活動支援センター 2階会議室(中)
(名取市大手町5-6-1)
- 対 象：パソコンを日ごろからお使いの方(Office、インターネット、SNS等)、パソコンを使うためのスキルを人に伝えることに興味がある方
- 定 員：10名(先着順)
- 参 加 費：3,000円(資料代 5回分)
- 申込方法：①氏名、②連絡先(TEL・E-mail)、③性別をご記入の上、下記連絡先にE-mailまたはTELでお申し込みください
- 申込締切：1月15日(金)まで
- 主 催：NPO法人ICT支援NPOネットワーク宮城
- 連 絡 先：担当：杉山 TEL/FAX：022-302-7587
(月・水～土曜日9:30～18:00)
E-mail：ict@ictnpo-miyagi.jp
URL：http://www.ictnpo-miyagi.jp

1/20 MIA日本語サポータービギナー研修会 日本語ボランティアの「いろは」を一緒に学びませんか？

宮城県国際化協会(MIA)では、日本語を学習したい宮城県内に住む外国人にマンツーマンで日本語を教えるボランティアの登録・紹介を行っています。本研修会は、こうした日本語ボランティアを始めるにあたっての基礎知識を楽しく学んでいただけます。

- 日 時：1月20日(水) 13:00～16:00
- 場 所：宮城県国際化協会 交流ラウンジ
- 講 師：鈴木 英子氏(MIA日本語講座スーパーバイザー)
- 内 容：地域の国際化と日本語ボランティア活動について
外国語としての日本語・やさしい日本語について
日本語学習教材の紹介など
- 対 象：参加はMIA日本語サポーター登録者に限ります。
未登録者でこの研修会参加を希望される場合は、事前にご登録をお願いします。

- 定 員：20名(先着順、要事前申込)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：TEL・E-mailにてお申し込みください
- 主 催：公益財団法人宮城県国際化協会
- 連 絡 先：〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17
宮城県仙台合同庁舎7階
TEL：022-275-3796
E-mail：mail@mia-miyagi.jp
URL：http://mia-miyagi.jp/

1/23 7人の専門家・実践家からグリーフケアを学ぶ 第3回 緩和医療の現場で見るグリーフ

グリーフケアとは、大切な人を亡くし、大きな悲嘆(グリーフ)をもっている人に対するサポートのことです。グリーフケアに関心のある方でしたらどなたでもご参加できます。

- 日 時：1月23日(土) 10:00～12:00
- 場 所：仙台レインボーハウス(仙台市青葉区五橋2-1-15)
- 講 師：滑川 明男氏(NPO法人仙台グリーフケア研究会
代表/仙台市立病院精神科医師)
- 対 象：グリーフケアに関心のある方でしたらどなたでも
- 定 員：20名
- 参 加 費：一般3,000円 個人・法人会員1,000円
- 申込方法：開催3日前までに下記連絡先までTEL・E-mailでお申し込みください
※E-mailの場合、件名に【●月●日公開講座申込み】、本文に氏名、所属、連絡先を明記し、送信してください
- 申込締切：1月20日(水)
- 主 催：NPO法人仙台グリーフケア研究会
佐藤利憲研究室(福島県立医科大学看護学部)
- 連 絡 先：NPO法人仙台グリーフケア研究会
TEL：070-5548-2186
E-mail：griefoffice@gmail.com
URL：http://www.sendai-griefcare.org/index.html

縦 覧 中

●縦覧中の団体の申請書類はこちらから確認できます

■宮城県 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html>
■仙台市 http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

!! 仙台市における認証手続きの変更について

国家戦略特別区域法第24条の4の規定により、仙台市では特定非営利活動促進法の特例が適用され、仙台市が所管するNPO法人の認証申請(設立、定款変更、合併)における申請書類の縦覧期間が、2カ月から2週間に短縮される等、認証手続きが変更になりました。仙台市は、縦覧期間中の申請書類をホームページで公表します。右記のURLからご確認ください。 ■http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

NPO法人の設立を新しく申請した団体				
団体名		所在地	活動内容	受理日
宮城県等	高橋園	石巻市	高齢者や障害者等を対象に生活支援事業を行うもの	11/12
	むらたスポーツクラブ	柴田郡村田町	地域住民の生涯スポーツ振興及び健康増進を図る事業を行うもの	11/30

NPO法人に認証された団体				
団体名		所在地	活動内容	認証日
宮城県等	マスキー	加美郡色麻町	高齢者の介護サービス、障害者や生活保護者の福祉サービスの充実を図る事業を行うもの	11/11
	かぎかつこPROJECT	石巻市	まちづくり、環境、教育、就労支援等の分野の企画を創造する事業を行うもの	12/2
	愛サポート	石巻市	高齢者、障害者、育児家庭等、生活支援を必要とする方々に対する介護保険外サービス事業	12/2
	閑上水産業振興会	名取市	名取市閑上地区の漁業及び水産加工業の振興と地域の活性化に資する事業を行うもの	12/4
仙台市	仙台雇用福祉事業団	太白区	住民のための街・公園の緑化・美化の事業 資源の有効活用のためのリサイクルなどに関連する事業 高齢者、生活困窮者などに対する希望と能力に応じた就業機会の開拓及び提供等	11/12
	森の学校	泉区	参加型アクティビティ事業、エコロジー情報発信事業、エコプロダクト開発事業等	11/13
	ほっぷすてつぷ	青葉区	児童養護施設等退所後の子どもたちのアフターケア事業並びに親の支援を受けられない子どもたちの自立支援事業、児童養護施設等退所後の子どもたち及び親の支援を受けられない子どもたちの住宅支援、シェアハウス事業、児童養護施設等退所前の子どもたちの巣立ち準備事業等	11/25
	Thyme	泉区	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(以下「障害者総合支援法」という。)に基づく就労移行支援事業、障害者総合支援法に基づく就労継続支援A型事業、障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型事業等	11/30

宮城県のNPO法人数

795団体

●宮城県等所轄：384団体 ●仙台市所轄：411団体

※2015年12月10日現在

込みいただくか、下記連絡先にTEL・E-mailにてお申込みください

- 主 催：西松建設まちづくり基金 事務局
- 連 絡 先：なとり復興塾 事務局
(公益財団法人 地域創造基金さなぶり)
TEL：022-748-7283 FAX：022-748-7284
E-mail：nf@sanaburifund.org
URL：http://www.sanaburifund.org/

1/16 「インターネット安心安全サポータ」啓発セミナー スマホの危険から子どもたちを守ろう

保護者や先生方に向けて、ネットの脅威から子どもたちを守るサポータになっていただくための講演、後半は、講演者およびパネラーとフロアーの方々とで話し合います。皆様、お気軽に足を運んでください！

- 日 時：1月16日(土) 14:00～16:30(開場13:30～)
- 場 所：情報・産業プラザ アエル5階セミナールーム 1a・1b (仙台市青葉区中央1-3-1)
- コーディネータ：小島 正美氏(NPO法人地域情報モラルネットワーク理事長)
- 講 師：男澤 亨氏(公益財団法人仙台応用情報科学研究振興財団担当部長)
- パネラー：阿部 伸一氏(NPO法人地域情報モラルネットワーク副理事長)
大友 正一氏(元中学校・校長)
- 定 員：50名(先着順)
- 参 加 料：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
申込み時、参加希望者全員の氏名、職業、住所(町名まで)、年代をお知らせください
- 申込締切：1月12日(火) ※定員になり次第締切
- 主 催：NPO法人地域情報モラルネットワーク
- 連 絡 先：〒982-0222 仙台市太白区人來田2-25-1
TEL/FAX：022-243-2409
E-mail：moral2106@gmail.com
URL：http://neuis.org/

1/16 実のある会議にはコツがある！ 上手い会議の進め方in山元

あなたの組織の会議はオモシロイですか？一部の人だけが延々と発言する、そんなつまらない会議になっていませんか？オモシロイ会議に変えるにはコツがあります。この講座でそのコツを学び創造的な会議・組織を作っていきましょう！

- 日 時：1月16日(土) 14:00～16:00
- 場 所：山元町中央公民館 大ホール
- 講 師：波多野 卓司氏(経営コンサルティング波多野事務所代表、中小企業診断士)
- 内 容：◆ファシリテーターの役割とは
◆会議を上手く進める3ステップ
◆組織の合意形成を上手くはかるためのルール
- 対 象：NPO、市民活動団体のメンバー、スタッフなど
- 定 員：20名(申込先着順)
- 参 加 費：500円(税込)
- 申込方法：申込書に必要事項を記入のうえ、下記連絡先にFAX・E-mailで申込み
申込書は下記URLリンク先からダウンロード可
URL：http://www.miyagi-npo.gr.jp/plaza/jigyoku/koza_d20160116.html

※TELでの申込みも受付けます

- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施：認定NPO法人杜の伝言ゆるる
- 連 絡 先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

1/17 あなたの心に寄りそう 傾聴サロン

誰かとゆっくり話がしたい、悩みを聞いてほしい、あなたの不安や悩み、誰にもいえない心のうちを話しに来ませんか。誰かに話す(放す)ことで、心の重荷が軽くなり、気持ちの整理もできると言われています。被災された方、一般の方、どなたでもお気軽にご参加ください。

- 日時・場所：【名取会場】1月17日(日)、2月21日(日)、3月20日(日)
・時間：10:00～15:00
・場所：名取市市民活動支援センター
【岩沼会場】1月20日(水)、2月17日(水)、3月16日(水)
・時間：10:00～15:00
・場所：岩沼市総合福祉センターiあいプラザ
【仙台会場】2月6日(土)、3月5日(土)
・時間：10:00～15:00
・場所：仙台市福祉プラザ
- 対 象：被災された方、一般の方
- 参 加 費：無料
- 申込方法：要事前予約。下記連絡先にお問合せのうえ、お申込み下さい。(守秘義務厳守…プライバシーは守ります)
- 電話相談：毎週火・木・土曜日9:00～17:00
【相談専用TEL】080-3199-4481
- 主 催：NPO法人仙台傾聴の会
- 連 絡 先：〒981-1232 名取市大手町5-6-1
名取市市民活動支援センター内
TEL/FAX：022-343-9705
携帯：090-6253-5640
E-mail：moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp
URL：http://sendaikeicho.web.fc2.com/

1/17 手作り望遠鏡で月をみる会

月や宇宙のお話や質問コーナーの後、望遠鏡を作って月を観察します。また、地球にある水についてのクイズや、水がめ運びの体験もあります。

- 日 時：1月17日(日) 14:30～17:00
- 場 所：入谷公民館(本吉郡南三陸町入谷水口沢12-3)
- 対 象：子ども・大人
- 定 員：45名
- 参 加 費：家族で1,000円(家族であれば何人でも参加可能)
- 申込方法：事前に下記連絡先まで申込み
- 主 催：NPO法人故郷まちづくりナイン・タウン
- 連 絡 先：TEL/FAX：0220-44-4301
E-mail：info@nine-town.org
URL：http://nine-town.org

1/18 ICTサポーター養成講座 ～身近なICTサポーターに～

パソコン関連スキルをわかりやすく伝えることができるICTサポーターを養成する講座です。日頃からパソコンを使っていて、人にパソコン関連のスキルを伝えることに興味のある方はぜひご参加ください。

女性のための相談窓口 電話相談、面接相談

エル・ソーラ仙台では、女性の自立を側面から援助することを目的に、女性の生き方に関する身近な問題について幅広く相談に応じています。自立に向けて一歩を踏み出そうとしている多くの女性の方、ぜひご利用ください。

- 相談内容：夫婦、男女の問題、家族、子育て、こころの問題、ドメスティック・バイオレンス、デートDVなどの様々な問題に女性相談員が応じます
- 対象：仙台市内に在住、または市内に勤務、通学している方
- 電話相談：月曜日、水曜日～土曜日 9:00～15:30
専用TEL：022-224-8702
- 面接相談：1時間程度、要予約 月曜日～土曜日
問合せ・相談予約TEL：022-268-8302
※受付時間9:00～17:00月曜日～土曜日
※火曜日は夜間相談も行っています
※お子さん連れの方は事前にご相談ください
- 主催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 連絡先：仙台市男女共同参画推進センター
エル・ソーラ仙台相談支援課
TEL：022-268-8302
URL：http://www.sendai-l.jp/

イベント

1/9 第3回市民社会研究フォーラム@仙台

日本NPO学会震災特別プロジェクト東北班では、東日本大震災後のNPOの取り組みについて、NPOの実践者と研究者が相互に学びあう機会を創出しております。興味のある方はぜひどなたでもお越しください。

- 日時：1月9日(土) 14:00～17:00(13:45受付開始)
- 場所：東北大学経済学部棟4階 大会議室
(仙台市青葉区川内27-1)
- 内容：非営利組織で働く男性の意味世界：変化する社会経済、災害復興の途上にあるNPO「第二世代」の生活史
(講師：齊藤 康則氏／東北学院大学経済学部共生社会経済学科・准教授)
「東日本大震災後設立のNPOにおける活動実態と今後の展望」調査の中間報告
(日本NPO学会震災特別プロジェクト東北班)
- 参加費：1,000円
- 申込方法：下記連絡先にTEL・E-mailで申込み
申込時、氏名、所属、E-mail、TELをお知らせください
- 主催：日本NPO学会震災特別プロジェクト東北班

- 連絡先：担当：久保(日本NPO学会震災特別プロジェクト東北班事務局)
E-mail：npo-chosa@yururu.com
TEL：022-791-9323
(認定NPO法人杜の伝言板ゆるる内)

1/12 にしぴりか おーだーめいど展

生きづらさを持ちつつも飾らずに、認め合う仲間がいるアトリエ nisipirica (ニシピリカ)。今年も、ニシピリカオーダーメイド展を開催します。この機会にお好きな織り布を選んで、ニシピリカの織りを使った世界で一つの洋服、バックなどを作ってみませんか？

- 日時：1月12日(火)～1月17日(日) 11:00～17:00
※最終日は16:00まで
※デザイナー在廊時間 11:00～16:00
※会期中に在廊するデザイナーが異なります。詳しくはお問合せください。
- 場所：メリーメリークリスマスランド＊メリラボ
(仙台市青葉区春日町6-15 GIPビル1階)
- 主催：nisipirica (にしぴりか)
NPO法人黒川こころの応援団
- 連絡先：黒川郡大和町吉岡字館下47
TEL：070-5546-8669
E-mail：info@nisipirica.com
URL：http://m-kissa.com

1/16 西松建設まちづくり基金 なとり復興塾

阪神・淡路大震災からの復興の経験や東北各地の復興事例をケーススタディとして参照しながら、これからの復興まちづくりを担うリーダーに必要な視点や知見を学ぶ連続講座です。

- 日時：1月開催)1月16日(土) 15:30～18:30
2月開催)2月20日(土) 15:30～18:30
- 場所：名取市市民活動支援センター
(名取市大手町5-6-1)
- 講師：1月)浅見 雅之氏(NPO法人神戸まちづくり研究所事務局長)
2月)室崎 益輝氏(兵庫県立大学教授、神戸復興塾塾長)
- 内容：復興過程における合意形成プロセスについて、これからの名取を考える
- 対象：名取市を大切に想い、名取市のまちづくりにご関心のある皆さま
※名取市以外で活動されている方、復興について学びたいという方もぜひご参加ください
- 定員：20名(先着順)
- 参加費：無料
- 申込方法：申込フォーム(<http://urx3.nu/olX7>)からお申

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2015.12.16現在) 敬称略

●正会員 50名

<仙台市> ●遠山青葉印刷株

●賛助会員 95名

<仙台市> ●安田邦夫 ●仙台平野再生支援ボード
<大和町> ●黒森きのこ

寄付を頂いた方々 <仙台市> ●鈴木英孝
<東京都> ●NPO法人バー・アスティエ協会

会 員 募 集

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	ー□ 3,000円
賛助会員NPO	ー□ 5,000円
賛助会員企業・団体	ー□ 20,000円

※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人
杜の伝言板ゆるる

会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。

information

12月15日までにゆるる編集部へ届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

学習サポート・ボランティア募集！

経済的に余裕のないご家庭の中学生を対象に、学習会を開催しています！子ども達と一緒に寄り添いながら、勉強やお話をしてくれる方を募集中です。

- 活動内容：子どもを承認し、励ましながらの学習サポートやお話(対象：中学生)
- 活動日時：毎週月曜～金曜日のいずれか週2回
18:00～21:00 ※拠点により前後有
- 活動場所：岩沼市・仙台市
○青葉区：五橋・桜ヶ丘・貝ヶ森・愛子・台原
○太白区：長町・袋原・柳生・八木山・富沢
○宮城野区：榴ヶ岡・高砂・新田東・鶴ヶ谷
○若林区：南小泉・六丁の目・沖野
○泉区：市名坂・南光台・泉中央
※拠点により、原付、車での移動も大歓迎
※交通費は全額支給します
- 対象：子どもと向き合い、子どもの成長と一緒に喜んでくださる方
・大学生、社会人の方
・週1回以上参加できる方(毎週が難しい場合はご相談ください)
- その他：コーチング研修会やサポーター交流会など、定期的に開催しています
- 申込方法：興味のある方、直接団体までご連絡ください
- 募集主体：NPO法人アスイク
- 連絡先：〒983-0852 仙台市宮城野区榴ヶ岡4-5-2
大野第2ビル 2階
TEL：022-781-5576 携帯：070-5328-4587
E-mail：info@asuiku.org
URL：http://asuiku.org/

事業案内

困ったことがあったら“Paso Café”をご活用ください

「パソコン・スマホ・タブレットの使い方を知りたい」、「ホームページを開設したい」、「ホームページの更新などに困っている」、とお考えのみなさん。ホームページやパソコン・タブレットについて知りたいこと、やってみたいことをお手伝いします。

【ホームページを開設したい】

- ・Jimdo講座(5時間)、WordPress講座(10時間)で基礎から学びます。
- ・団体の希望に応じホームページの作成も学ぶことができます。日程や指導内容は要相談

【ホームページの更新などに困っている】

- ・担当者が代わり管理運営の引継ぎがなく困っている方、ご相談ください。
- ・ホームページ・サーバーのセキュリティ対策の確認など

【パソコン・スマホ・タブレットの個人指導】

- ・Windows系、Android系、Mac系端末の基本操作
- ・遠くに住む孫とSkypeでテレビ電話をしたい、写真の整理やアルバムづくりをしたいなど、生活での活用について専門のスタッフがお手伝いします。

- 日時：火曜～土曜日 10:00～17:00
- 場所：みやぎNPOプラザ ショップ内“Paso Café”
(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 申込方法：予約制 TEL・FAX・E-mail・ホームページから申込み
※TELの場合、留守時はお名前を録音してください(戻り次第TELいたします)
- 主催：NPO法人イー・エルダー東北支部
- 連絡先：TEL/FAX：022-796-8091
E-mail：tohoku@e-elder.jp
URL：http://www.e-elder.jp/tohoku/

平成27年度仙台市NPO法人
組織基盤安定化事業

「NPO法人運営力向上セミナー」開催中！

NPO法人になって間もなく、事務局機能がまだ整っていない仙台市内のNPO法人を対象に、「会計」「税務」「労務」など、組織運営力の向上を目的とした様々な講座と専門家対応の相談会を3月まで開催します。広く市民の信頼を得ながら、協働によるまちづくりの担い手としての力を発揮できるような組織づくりに取り組みましょう！

1月開催の講座

①NPO法人のための労務基礎講座

- 開催日時：1月19日(火) 14:00～16:00
- 定員：20団体 ●参加費：800円(税込)

②NPO法人の課税事業とは

- 開催日時：1月25日(月) 14:00～16:00
- 定員：20団体 ●参加費：800円(税込)

1月開催の個別相談会

参加費：無料 定員：各1団体

※相談会は同日開催の講座参加団体が優先
【労務個別相談会】

- 開催日時：1月19日(火) 16:30～17:30

【会計税務個別相談会】

- 開催日時：1月25日(月) 16:30～17:30

共通事項 会場：仙台市市民活動サポートセンター(〒980-0811 仙台市青葉区一番町4丁目1-3)

お問い合わせ先

認定特定非営利活動法人
社の伝言板ゆるる

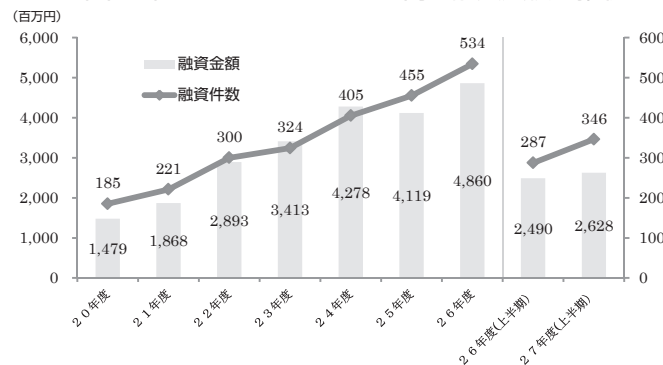
仙台市宮城野区榴ヶ岡3-11-6コーポラス島田B6
TEL: 022-791-9323 FAX: 022-791-9327

E-mail: npo@yururu.com
URL: http://www.yururu.com/

ソーシャルビジネスを営むみなさまへ

～日本政策金融公庫国民生活事業では、ソーシャルビジネスを営むみなさまを応援しています～

東北6県のソーシャルビジネス向け融資実績の推移



東北6県では、ソーシャルビジネス向け融資が増加しています。増加の背景としては、多様化・複雑化する地域社会の課題解決に取り組むNPO法人が増加していることや、継続してソーシャルビジネス支援に取り組んできたことで、同分野における当公庫の認知度が向上していることなどが考えられます。

ご相談などをご希望の方は、東北広域営業推進室までお気軽にご連絡ください。よろしくお願いいたします。

平成27年度上半期の東北6県の実績は

融資件数 346件

(対前年同期比120.6%)

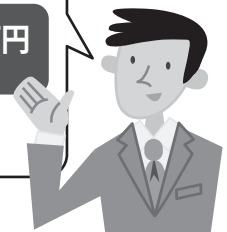
うちNPO法人は50件

融資金額 2,628百万円

(対前年同期比105.5%)

うちNPO法人は314百万円

と増加しています。



東北広域営業推進室

〒980-8452 仙台市青葉区中央1-6-35 (東京建物仙台ビル9階)
Tel.022 (222) 5339 / 担当: 鎌田、松宮、佐藤



日本政策金融公庫
国民生活事業

宮城県震災復興担い手NPO等支援事業

協働促進フォーラム ～福祉のあるまちづくり～

シニアや若者など、皆が力を合わせて地域の課題解決に向けて活躍できる社会を実現するためには、NPO・市民活動団体や行政など多様な主体による『協働』が鍵を握っています。今回は、その実現にむけて、『福祉のあるまちづくり』をテーマに、パネルディスカッションと情報交換会を行います。

日時 平成28年1月27日(水) 13:00～17:00

会場 TKPガーデンシティ仙台勾当台ホール1

- 〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビル2階
- TEL/022-726-5072
- アクセス: 市営地下鉄南北線「勾当台公園駅」公園2番出口から徒歩1分
お車でお越しの場合は付近の有料駐車場をご利用ください。

定員 100名 **参加費** 無料

対象 NPO法人、市民活動団体、自治体関係者、企業など

■主催: 宮城県 ■企画・実施: 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる

内容 ●パネルディスカッション テーマ「福祉のあるまちづくり」
【パネリスト】

NPO法人むすび 理事 荒川 直美氏
NPO法人よるずや余之助 会長 桑原 三郎氏
横浜市戸塚区役所 地域振興課長 高嶋 賢一氏

【コーディネーター】

大久保 朝江氏(認定NPO法人杜の伝言板ゆるる 代表理事)

●情報交換会(2つのテーマに分かれて実施します。)

テーマ 介護保険制度と地域のささえあい

テーマ 協働による社会づくり(若者からシニアまでをどのようにまきこむか)

申込方法 参加希望の方は、所属、氏名、住所、連絡先をご記入のうえ、下記宛先までTEL、FAX、E-mailでお申し込みください。

連絡先・申込先 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる

- 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
- TEL: 022-791-9323
- FAX: 022-791-9327
- E-mail: npo@yururu.com
- URL: http://www.yururu.com

